

普通高等教育日语专业精品教材

# 新编 日本国家概况

池建新 王越 编著



随书赠送  
多媒体课件



东南大学出版社  
Southeast University Press

普通高等教育日语专业精品教材

# 新编 日本国家概况

(配多媒体课件)

池建新 王越 编著

东南大学出版社  
·南京·

## 内 容 提 要

本书涵盖日本地理、社会、生活、习惯、风俗、传统文化、历史等六大领域近三十个专题,涉及日本国情的方方面面。各个章节重点突出,叙述简单明了,知识性与趣味性兼顾,并配有多媒体课件以及精选的练习题、参考解答,可以帮助日语专业的学生较为准确、全面地把握日本国情与国民的社会与文化,加深对日本国的了解,从而为将来的各种对日交流打下良好基础。本书为普通高等院校日语专业必修课教材,亦可作为日本概况或者日本文化课教材和同等水平的教育考试类教材及其他社会用书。

### 图书在版编目(CIP)数据

新编日本国家概况 / 池建新, 王越编著. — 南京: 东南大学出版社, 2012. 3

ISBN 978-7-5641-3303-0

I. ①新… II. ①池… ②王… III. ①日语-高等学校-教材 ②日本-概况 IV. ①H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2012)第019565号

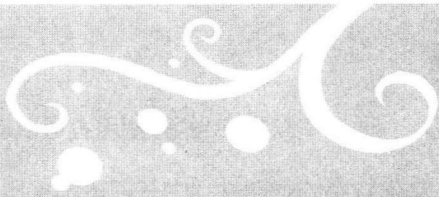
### 新编日本国家概况

编 著	池建新 王 越	责任编辑	刘 坚
电 话	(025)83793329/83362442(传真)	电子邮件	liu-jian@seupress.com
出版发行	东南大学出版社	出 版 人	江建中
地 址	南京市四牌楼2号(210096)	邮 编	210096
销售电话	(025)83793191/83794561/83794174/83794121/83795801/83792174/83792214 83795802/57711295(传真)		
网 址	http://www.seupress.com	电子邮件	press@seupress.com
经 销	全国各地新华书店	印 刷	南京新洲印刷有限公司
开 本	787mm×1092mm 1/16	印 张	20 字 数 512千字
印 数	1—4000册		
版 次	2012年3月第1版 2012年3月第1次印刷		
书 号	ISBN 978-7-5641-3303-0		
定 价	39.80元(含多媒体教学光盘)		

\* 未经许可,本书内文字不得以任何方式转载、演绎,违者必究。

\* 东大版图书,如有印装错误,可直接向发行部调换,电话:025-83793191。

# 前言



“日本国家概况”是普通高等教育日语专业关于日本国家社会、文化等知识的一门必修课程，教学对象一般为普通高等院校日语专业本、专科2年级及以上的学生，教学要求一般为全日语授课。日本国家概况的任务是扩展知识面，培养学生对日本国情有一个系统、真实的认识，其主要内容应该包括日本地理、政治、经济、教育、社会文化、历史等内容。本课程一般是在学习了日语专业基础阶段各课程的前提下，进一步学习日本地理、社会文化、历史等内容的综合性应用课程。该课程涵盖的学科领域非常广泛，因此要在一本总量适度的教材内包含大量的有效信息，难度较大。国内目前已经有多版本的“日本国家概况”教材，可谓各有特色。但根据我们多年来的教学实践和反馈信息来看，现有教材有的内容过于浅显，信息量不够；有的教材文字叙述太多，缺少直观的图片 and 多媒体辅助材料。总体而言，“日本国家概况”这门课程学习者要求多样，教学难度较大；此外，对于一直以日语语言的基础和运用能力为培养重点的学生来说，如何“切换”到用日语去学习各种日本知识也是一个难点所在。这就要求日本国家概况的教材总量适度、重点突出、方便学习、有利于教学，同时辅之以现代教育技术，以便引导学生自主学习。

这本《新编日本国家概况》是作者在总结国内外各种版本教材优缺点的基础上，根据教育部《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》对“日本国家概况”课程的要求和日本国际交流基金2010年5月出版的《日本事情·日本文化を教える》（日本語教授法シリーズ11）的指导建议，从了解日本和理解日本两方面的必要信息入手，将日本的自然地理、社会、人文、习惯、历史等诸多章节分为六大部分进行了较为详细的介绍，并为每章都设计了客观检测掌握情况的精选练习题，且在书后提供了参考解答，保障了教与学的系统性和完整性。最后，本书还附有多媒体教学课件，其中除了书本内容外，还附加了许多涉及相关知识的图片等。课件中还附有关于日本历代天皇、历代首相等日语学习人员应该了解的知识。

通过本教材的学习,使用者可以培养并提高对中日文化差异的敏感性、宽容性以及处理一些文化冲突的灵活性。由于日本国家概况课程存在内容多、范围广、课时少的矛盾,这就要求任课教师在使用本教材时还要根据教授对象的具体情况,做到内容取舍难度适宜,合理运用双语,知识与兴趣兼顾,同时,要采取直接讲授和主题讨论、阅读提问、多媒体形象展现等各种方法的结合。此外,还可利用习题促进学生课堂外对日本概况知识的学习与探究。

我们由衷希望本教材可以帮助日语专业学生把握日本国的基本国情,加深对日本国民的了解,从而为将来的各种对日交流发挥一点有益作用。本教材的出版获得了南京师范大学重点教材出版资助并得到了揭侠、汪平、彭曦、周浩、林敏洁、吴立新、刘克华等南京日语界专家同仁及东南大学出版社刘坚博士、长春师范学院刘艳教授热情无私的支持和宝贵的建议。在资料的收集整理过程中,梁清秋、高玲玲、周健怡、周宇、秦瑾、靳晓宁等也付出了很多努力,在此一并表示衷心的感谢!

当然,由于我们水平有限和时间仓促,本书中难免有错误和不足之处,在此恳请广大读者和同行教师批评指正。

南京师范大学·日本文化研究中心主任 池建新 博士

长春师范学院日语系 王 越

2012年春于金陵随园

# 目次 CONTENTS

## 第一部 日本の国土と自然

第一章 日本の位置・面積・人口	1
1.1 日本の位置	1
1.2 日本の面積	2
1.3 日本の人口	2
練習問題	5
第二章 日本の行政区画・地域分け	6
2.1 行政区画	6
2.2 地域分け	7
2.3 日本の各地方	10
練習問題	16
第三章 日本の地形	20
3.1 日本の地形特徴	20
3.2 山地と山脈	21
3.3 平地	22
3.4 河川と湖沼	23
3.5 日本の海岸とそのまわりの海	25
3.6 火山と火山帯	26
練習問題	27
第四章 日本の気候	29
4.1 気候区	29
4.2 季節風	30
4.3 梅雨	31
4.4 災害立国日本	31
練習問題	34

## 第二部 日本の社会

第一章 日本の政治	37
1.1 国旗・国名	37
1.2 日本国の天皇	38
1.3 日本国憲法	40

1.4	統治機関	42
1.5	地方自治	47
1.6	選挙	48
1.7	日本の政党	51
1.8	日本の外交と自衛隊	53
	練習問題	56
<b>第二章</b>	<b>日本の教育</b>	<b>58</b>
2.1	日本の教育制度	58
2.2	学校の生活と学習塾	62
2.3	教育の問題	64
2.4	日本の教育改革	68
2.5	外部から見る日本教育の長所と短所	70
	練習問題	72
<b>第三章</b>	<b>日本の経済</b>	<b>73</b>
3.1	戦後の日本経済の流れ	73
3.2	日本の構造改革	73
3.3	日本の経済力	74
3.4	対外経済	75
3.5	日本の産業	77
3.6	企業経営	85
	練習問題	86
<b>第四章</b>	<b>高齢化、少子化と社会保障</b>	<b>91</b>
4.1	少子高齢化	91
4.2	少子高齢化への対応	92
4.3	社会保障	92
	練習問題	98
<b>第五章</b>	<b>日本の交通</b>	<b>100</b>
5.1	鉄道	100
5.2	道路と自動車輸送	101
5.3	海運と空運	101
	練習問題	102
<b>第六章</b>	<b>日本の通信</b>	<b>104</b>
6.1	通信衛星とテレビ	104
6.2	ラジオ	105
6.3	新聞	105

6.4 インターネット .....	105
6.5 日本のIT革命 .....	106
6.6 郵便 .....	109
練習問題 .....	110

## 第三部 現代日本人の生活

<b>第一章 衣食住</b> .....	112
1.1 衣服 .....	112
1.2 日本料理 .....	115
1.3 日本家屋 .....	124
練習問題 .....	132
<b>第二章 現代日本生活の各方面</b> .....	134
2.1 社会生活 .....	134
2.2 家庭生活 .....	138
2.3 日常生活 .....	140
練習問題 .....	145
<b>第三章 日本人の娯楽</b> .....	146
3.1 野球、サッカー、ゴルフとテニス .....	146
3.2 麻雀、囲碁と将棋 .....	147
3.3 パチンコ、宝くじ、競馬、競輪と競艇 .....	148
3.4 カラオケと温泉旅行 .....	149
3.5 映画とドラマ .....	149
3.6 マンガとアニメ .....	150
3.7 日本の名所 .....	151
練習問題 .....	154
<b>第四章 家庭と家族</b> .....	156
4.1 家庭 .....	156
4.2 家庭の機能 .....	157
4.3 家族 .....	158
4.4 家族の歴史的な変容 .....	158
4.5 家族団欒 .....	159
練習問題 .....	160

## 第四部 日本人の習慣・慣習

<b>第一章 年中行事</b> .....	162
1.1 春の主な行事 .....	163



1.2 夏の主な行事	169
1.3 秋の主な行事	177
1.4 冬の主な行事	183
練習問題	194
<b>第二章 日本の祝日・休日</b>	<b>196</b>
2.1 春の祝日	196
2.2 夏の祝日	198
2.3 秋の祝日	198
2.4 冬の祝日	199
練習問題	202
<b>第三章 婚儀と葬儀</b>	<b>203</b>
3.1 婚儀	203
3.2 葬儀	206
練習問題	209
<b>第四章 礼儀と贈答</b>	<b>211</b>
4.1 お辞儀と握手	211
4.2 挨拶と名刺	211
4.3 上座と下座	212
4.4 あぐらと正座	213
4.5 年賀状と暑中見舞い	214
4.6 お見舞いと訪問	215
練習問題	216

## 第五部 日本の伝統文化

<b>第一章 伝統芸能</b>	<b>218</b>
1.1 能と狂言	218
1.2 歌舞伎	219
1.3 太鼓	222
1.4 琴	222
1.5 人形浄瑠璃	223
1.6 三味線	223
1.7 尺八	223
1.8 漫才	224
1.9 邦楽と詩吟	224
1.10 落語	224

練習問題	225
<b>第二章 伝統芸術</b>	226
2.1 華道	226
2.2 茶道	227
2.3 書道	228
2.4 日本画	229
練習問題	231
<b>第三章 伝統スポーツ</b>	232
3.1 相撲	232
3.2 柔道	232
3.3 空手道	233
3.4 弓道	233
練習問題	234
<b>第四章 日本の宗教と信仰</b>	236
4.1 神道	237
4.2 仏教	238
4.3 キリスト教	238
4.4 「もののあはれ」	239
4.5 無常	239
4.6 わび・さび	240
4.7 内と外	241
4.8 義理人情	242
4.9 恩と恨	243
練習問題	244

## 第六部 日本の歴史

<b>第一章 原始</b>	245
1.1 先土器時期	245
1.2 縄文時代	246
1.3 弥生時代	246
1.4 古墳時代	247
練習問題	249
<b>第二章 古代</b>	250
2.1 飛鳥時代	250
2.2 奈良時代	252

2.3 平安前期 .....	254
練習問題 .....	256
<b>第三章 中世</b> .....	259
3.1 平安後期(武家政治の始まり) .....	259
3.2 鎌倉時代 .....	259
3.3 建武中興 .....	261
3.4 室町幕府 .....	261
練習問題 .....	264
<b>第四章 近世</b> .....	266
4.1 大航海の時代 .....	266
4.2 戦国大名の日本支配 .....	267
4.3 江戸時代の産業・交通・文化の広がり .....	273
練習問題 .....	278
<b>第五章 近代と現代</b> .....	280
5.1 資本主義の形成と明治維新 .....	280
5.2 立憲政治の始まりと中日甲午戦争・日露戦争 .....	283
5.3 第一次世界大戦と日本 .....	286
5.4 第二次世界大戦後の日本と世界 .....	288
練習問題 .....	290
<b>練習問題の参考解答</b> .....	295
<b>参考文献</b> .....	308

# 第一部 日本の国土と自然

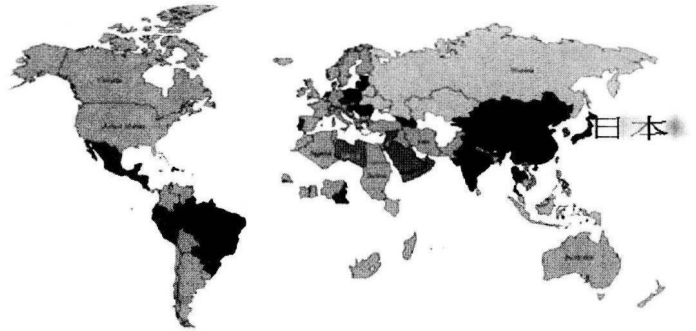
## 第一章 日本の位置・面積・人口



### 1.1 日本の位置

日本は世界で最も大きい陸地のユーラシア大陸の東側に、北東から南西にかけて、およそ3000 kmにわたって、孤形に位置している島国である。国土はおおむね北は北緯45度33分から、南は北緯20度25分まで、東は東経153度59分から、西は東経122度56分までの範囲に位置している。

日本の東と南西に世界最大の海である太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と中国の東海がある。日本は日本海と中国の東海を隔てて、中国、北朝鮮、韓国と向い、東は広い太平洋を隔てて、



アメリカ大陸のアメリカ合衆国、カナダを相対している。北はオホーツク海を隔てて、ロシアのシベリアがある。

朝鮮半島とは対馬海峡で、また樺太(サハリン)とは宗谷海峡で接しており、大陸や近隣の島々と極めて近い位置にある。また、日本は、中国の隣国で、日本の長崎から中国の上海まで467カイリ(約865キロ)しかない。福岡から上海まで900キロぐらいである。この位置は大陸の文化を取り入れられる有利さをもっているため、日本は古くから中国の影響をかなり受けている。緯度から見ると日本は地中海や中国、アメリカとほぼ同じ位置にある。赤道をはさんで反対側に移すと、シドニーと東京は緯度がほぼ同じであることがわかる。



## 1.2 日本の面積

日本は国土の面積が37.8万平方キロメートルである。これは地球上の陸地約1億5300万平方キロメートルの400の1で、アメリカ合衆国の25分の1、中国の26分の1に当たる。日本の国土は本州、北海道、九州、四国の四つの大きな島と付近の多くの小さな島々からなっている。その中で、本州島の面積が一番大きく、日本の61%を占めている。ついで、北海道は21%、九州12%、四国5%。また、北の端から南の端まで日本列島の長さは約3000kmにもおよぶ。

日本は周囲を海に囲まれた島国であることから、海上交易・漁業ともに盛んな海洋国家である。海岸の延長距離は3万3889kmであり、沿岸の12海里の領海面積は約43万平方キロメートルである。でも、小さい離島が多く、経済水域面積は約400万平方キロメートルである。①ヨーロッパのほとんどの国よりも大きく、世界の国々の中でも大きい方である。

## 1.3 日本の人口

日本の明治時代の初めには人口が3000万人しかなくて、ピラミッド型の人口構成をしていた。現在は総務省が発表した国勢調査の人口速報集計によると、日本の総人口は、2005年の国勢調査の結果によると127,767,994人(2005年10月1日の確定値)であり、2010年国勢調査によると128,056,026人(2010年10月1日の速報値)である。日本の人口は世界で10番目である。

厚生労働省の調べによると、2009年の日本人の平均寿命が男性79.59歳、女性86.44歳と、ともに4年連続で過去最高を更新した。「肺炎や心臓病による死者の減少が寄与した」(同省)という。海外と比べると、女性の平均寿命は25年連続の世界一であるが、男性は前年の4位から5位に順位を下げた。

以下の表は2009年時点で年齢、男女別日本の総人口を示すいわゆる人口ピラミッドを表したものである。

- 
- ① 経済水域面積:沿岸の国が海底資源や水産資源を利用する権利のある水域のこと。日本の国土面積は中国の台湾面積の約10倍、中国の雲南省より少し小さいぐらいです。しかし、日本という国は、最北端に択捉島、最東端に南鳥島、最南端に沖ノ鳥島、最西端に与那国島と広く点在していますから、沿岸から12海里とされる領海や、200海里とされる排他的経済水域を加えると、約国土面積の10倍以上もあり、その広さは世界第6位と意外に広いのです。

年齢、男女別人口各歳別総人口表[単位 千人]

年齢歳	人口 (男女計)	(男)	(女)	年齢歳	人口 (男女計)	(男)	(女)	年齢歳	人口 (男女計)	(男)	(女)
0	1,078	553	525	1	1,092	560	532	2	1,087	556	528
3	1,072	550	522	4	1,050	536	513	5	1,088	557	532
6	1,111	570	542	7	1,145	587	558	8	1,160	595	565
9	1,180	606	574	10	1,179	604	574	11	1,193	611	582
12	1,188	608	580	13	1,183	606	577	14	1,206	618	589
15	1,208	619	589	16	1,190	610	580	17	1,212	622	590
18	1,245	622	594	19	1,216	640	614	20	1,302	665	637
21	1,347	690	657	22	1,388	712	676	23	1,414	729	684
24	1,463	754	709	25	1,490	765	725	26	1,494	766	728
27	1,478	752	725	28	1,490	760	731	29	1,551	789	762
30	1,589	808	781	31	1,653	838	815	32	1,698	862	836
33	1,783	905	878	34	1,869	948	920	35	1,966	998	969
36	2,002	1,013	989	37	1,964	995	969	38	1,918	970	948
39	1,864	942	922	40	1,835	925	910	41	1,800	908	893
42	1,793 <sup>+</sup>	905	889	43	1,407	708	700	44	1,746	879	867
45	1,636	824	812	46	1,593	801	792	47	1,541	774	767
48	1,522	764	757	49	1,534	768	765	50	1,564	783	782
51	1,521	759	762	52	1,481	739	742	53	1,560	778	782
54	1,613	804	809	55	1,614	803	811	56	1,717	851	866
57	1,812	896	916	58	1,922	949	973	59	2,068	1,018	1,050
60	2,266	1,115	1,151	61	2,247	1,103	1,144	62	2,131	1,044	1,087
63	1,335	650	685	64	1,434	692	742	65	1,747	839	908
66	1,695	813	882	67	1,735	829	908	68	1,682	801	881
69	1,526	723	803	70	1,320	622	698	71	1,402	653	748
72	1,429	663	766	73	1,417	651	766	74	1,342	609	734
75	1,251	560	692	76	1,233	543	689	77	1,181	514	667
78	1,115	477	638	79	1,032	433	599	80	978	402	576
81	914	368	546	82	847	332	515	83	794	300	494
84	703	254	450	85	598	204	394	86	522	162	360
87	457	134	323	88	393	110	283	89	362	98	264
90歳以上		307	1,024	100歳以上		48	不詳				

データ出典:(総務省統計局)2009年10月1日まで。

日本は人口の割に国土が狭いため、世界の中でも人口密度の高い国として知られる。人口

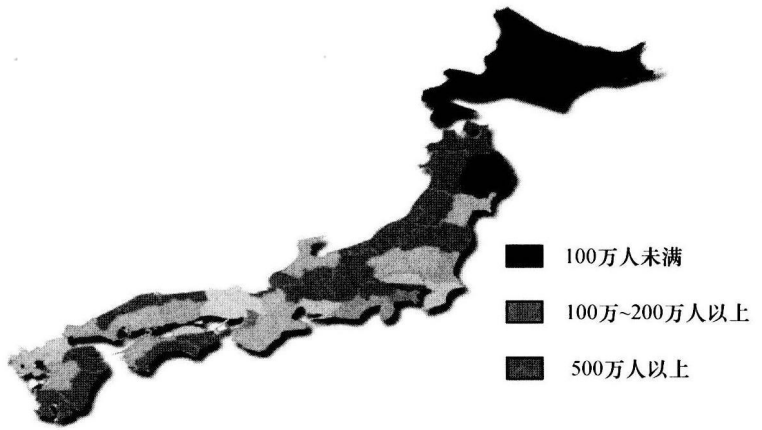
密度は1平方キロメートルに住んでいる人数のことで、日本全体の人口密度は336人である。①

また、日本の人口分布は地域によってかなりの差がある。日本では一番人口密度の高い都市は東京(5764)、次は大阪(4575)その次は神奈川県(3678)である。一番低いのは北海道66人、次は岩手県の88人である。

人口の多い地方——関東、東海、近畿などで商工業のさかんな太平洋ベルト地帯に集中している。また、この地方は人口の密度も高い。人口の少ない地方——北海道、東北、北陸などで人口の密度が低い。

**都市に集中する人口** 商工業の発達している大都市の人口が集まり、大都市で地価の値上がり、住宅難、通勤ラッシュ、道路の混雑、車の排気ガスによる大気汚染、ごみ処理の問題などが起こっている。

人口の減る地方——農村から都市への流出が激しくなり、現在もその状態がつづき、農村地域での労働力の不足が問題になっている。



人口の分布

出典：厚生労働省 HP 2010年

## ——○ コラム 領土問題 ○——

領土問題は、ある地域がどの国家に属するかをめぐって、国家間での争いが起きることである。よく領土問題の原因になるのが、その土地にある石油などの天然資源や、国境付近にある川、農地、重要建造物である。また、その土地を始めて占有した国家が領有を明確にしていなかったり、付近に他の国家がありながらもその国家の了解を得ていなかったりといった歴史的経緯も、原因になりやすい。日本の領土問題というと、ロシア占領の北方領土がふくまれ、また中国との間では魚釣島(日本は尖閣諸島という)、韓国との間では竹島の領有問題がある。



① 住民基本台帳人口要覧 平成22年版、平成21年度 全国都道府県市区町村別面積調。

竹島問題は日本と韓国が互いに固有の領土だと主張している。

北方領土はロシアが実効支配している歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四つの島からなり、針葉樹林や周辺の海域での水産資源に恵まれている。日本が返還を求めているが、いまだに実現していない。一方、中国の魚釣島との周囲の島々は中国の固有領土で、1972年アメリカは沖縄を日本に返還する時、その管轄権を日本に渡した。日本は魚釣島を英語名の訳から尖閣諸島といい、支配している。東海の石油や天然ガス資源の開発をめぐる領有権を主張しているが、実は魚釣島との周囲の島々は中国の古来の固有領土である。

## 練習問題

### 一、自分で日本の白地図を描いて次の地名を記入しよう。

オホーツク海 太平洋 日本海 中国の東海 北海道 九州 四国

### 二、次の各文の\_\_\_\_\_に何を入れるか、下記のA、B、C、Dから一つ選びなさい。

- 日本の総人口は約一億二千万人あまりで、ナイジェリアに次いで世界第\_\_\_\_\_位である。  
A 11                      B 7                      C 8                      D 10
- 次は北方四島ではない島は\_\_\_\_\_である。  
A 国後島                  B 沖ノ島                  C 色丹島                  D 歯舞群島
- 日本全体の人口密度は大体\_\_\_\_\_人である。  
A 300                      B 400                      C 500                      D 600
- 日本100歳以上の人口は大体\_\_\_\_\_万人いる。  
A 10                      B 7                      C 8                      D 5
- 日本の海岸線は大体\_\_\_\_\_kmある。  
A 3 000                      B 6 000                      C 20 000                      D 33 000
- 本州で一番南にある岬の名前は何ですか。  
A 室戸岬                  B 潮岬                  C 襟裳岬                  D 宗谷岬

### 三、次の\_\_\_\_\_に入れる数字や言葉を書き入れなさい。

- 日本では、人口密度が一番高い所は\_\_\_\_\_で、次は\_\_\_\_\_、その次は神奈川県である。
- 日本は、日本海と東中国海を隔てて、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、韓国と向い合い、東は広い太平洋を隔てて、\_\_\_\_\_と相対している。
- 日本の国土は本州、\_\_\_\_\_、九州、\_\_\_\_\_の四つの大きな島のほか、散在する4 000弱の島からなっている。これらは\_\_\_\_\_と総称されている。
- ユーラシア大陸の東側にある日本列島は面積が約\_\_\_\_\_万? で、経度は東経\_\_\_\_\_度から\_\_\_\_\_度に、緯度は北緯\_\_\_\_\_度から\_\_\_\_\_度に位置する。
- 日本の東と南西には太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、\_\_\_\_\_海と\_\_\_\_\_海と東中国海がある。



6. 中国と日本は一衣帯水の隣国であり、\_\_\_\_\_から九州の長崎まで約 460 海里、\_\_\_\_\_から日本の南西諸島の南端までは、約 60 海里しか離れていない。

四、次の文を正しいと思うものには「○」を、正しくないものには「×」を付けてください。

1. 日本の国土面積は約 38 万 km<sup>2</sup>であるが、細長い島国なので経済水域が国土面積の10倍以上もある。
2. 日本の国土は過去 30 年間にシンガポールの面積より広い土地が増えた。
3. 日本の緯度ではおおよそ地中海や中国、アメリカとほぼ同じ位置にある。
4. 人口密度の分布は平均で特にかたよっていない。
5. 国土はヨーロッパのほとんどの国よりも大きく、世界の中でも大きいほうである。
6. 四つの大きな島の中で本州島の面積が一番大きく、日本の61%を占めている。
7. 日本の国土面積は中国の台湾面積の約 10 倍、中国の雲南省より少し小さいぐらいです。

五、次の(1)～(8)の選択肢[a, b, c]の中から正しい記号を一つ選らんで解答欄に記入しなさい。

日本の国土 38 万平方キロメートルのうち、宅地は全国土の(1)[a5%, b13%, c20%]を占めるにすぎない。狭い宅地に、2000(平成 12)年 3 月現在、日本の人口(2)[a116 百万, b126 百万, c136 百万]が居住している。人口密度は1995(昭和 30)年には242 人であったが、1998(平成 10)年には(3)[a299 人, b339 人, c379 人]に増えた。しかし、これから日本の人口を特徴づけるのは少子化・高齢化に伴う人口減少である。少子化の影響で、一世帯構成人数は、1955(昭和 30)年には5 人弱であったが、2000 年で(4)[a 4. 11, b 3. 22, c 2. 66]に下がり、高齢化の影響で、2015 年には65 歳以上の人口の割合が(5)[a20%, b25%, c30%]になると予想されている。

六、論述問題

1. 日本は、どんな地理的特色を持った国ですか。
2. 日本の産業別人口は、明治時代以後どう変化してきたか。

## 第二章 日本の行政区画・地域分け



### 2.1 行政区画

現在、日本には47の都道府県がある。つまり、日本の行政区画では、全国を一都(東京都)、一道(北海道)、二府(大阪府、京都府)と43 県に分けられている。都道府県の行政機構は「庁」と称し、都庁、道庁、府庁、県庁といい、行政首長は知事である。